

A photograph of a brown deer with small, thin antlers standing in a lush green forest. The deer is facing left, and the background is filled with dense green foliage. The ground is covered with moss and fallen leaves.

シカのはかり方

哺乳類担当の仕事

長野県は哺乳類が沢山！
課題も多い

① 野外でニホンジカ調査



② 県内から集まる哺乳類を分析



現場



クマ頭部



カモシカ
胃内容



アライグマ



いつも日の目をみるのは結果だけど



大きな荷物と崖の上へ



ひたすら藪漕ぎ



駆り出される子供

高さ100mのはしごの上

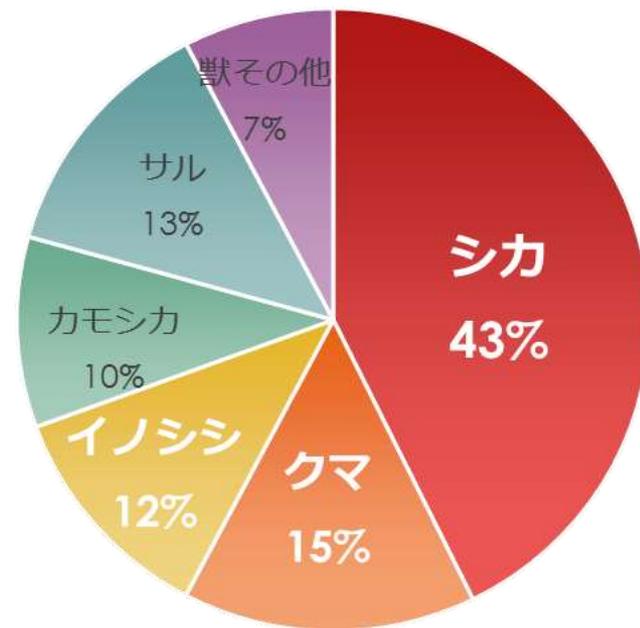


ガした斜面を往復する鳥探し

データを得て結果にするまでに険しい道のりが

シカをはかるのは…

- 今最も注目される生態系改変者
- 農林業被害金額もNo.1
ニホンジカだけで約3億円の損失
- でも生態系の一員



長野県の農林業被害
8億3千万円の内訳

シカのことを知り，生態系の多様性
や豊かな暮らしを守りたいから！

シカの数が増減を測る！



ライトをあてて，数をかぞえる = ライトセンサス

シカの数が増減を測ると

野焼き延焼



延焼後に大きく変動
長期的には増加傾向

霧ヶ峰高原のニホンジカ観察数の推移



少し小さいシカ

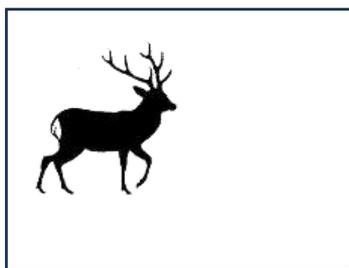


お腹がふっくら

シカの密度を測る！

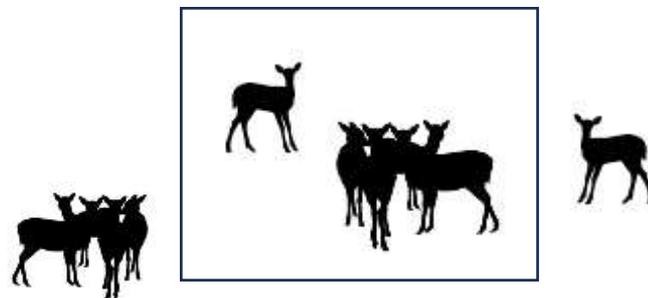
密度とは？

ある面積で区切ったときに，そのなかにいる動物の数



密度が小さい

密度が大きい



- 密度 × 生息面積により，生息数が算出できる
- 密度の変化をみることで増減トレンドが分かる

シカの密度を測る！

①糞粒法



□ 数える

↓ 10m歩く

□ 数える

↓ 10m歩く

□ 数える

↓ 10m歩く

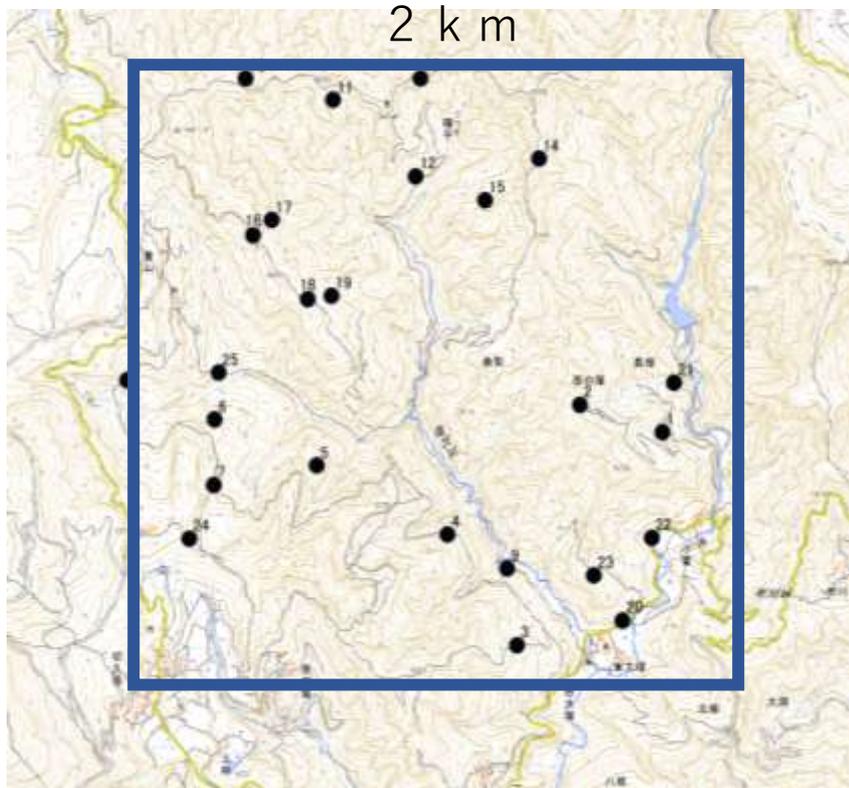


「数える」を101回 = 1km分

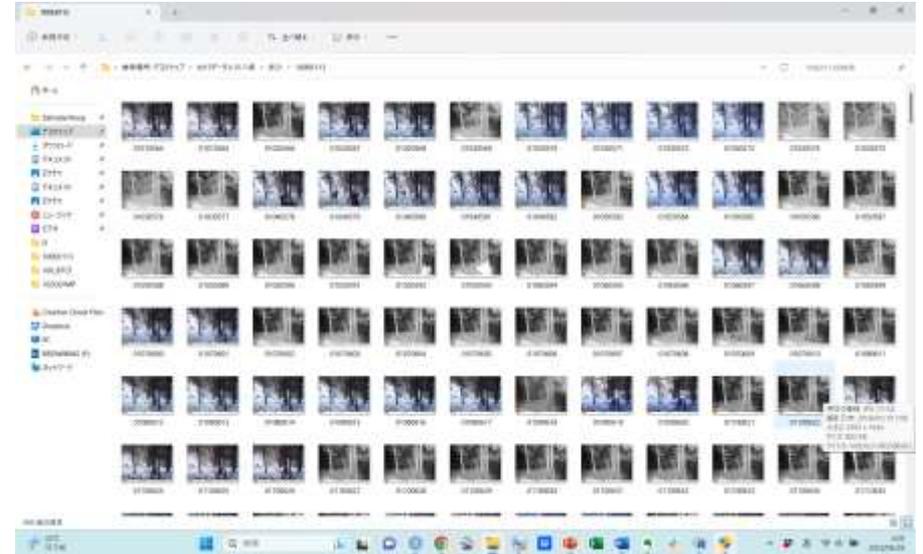
②カメラで撮影



センサーカメラによる密度調査



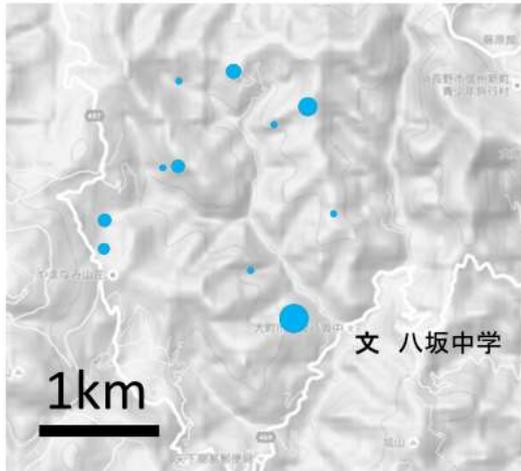
カメラは2km²に25台



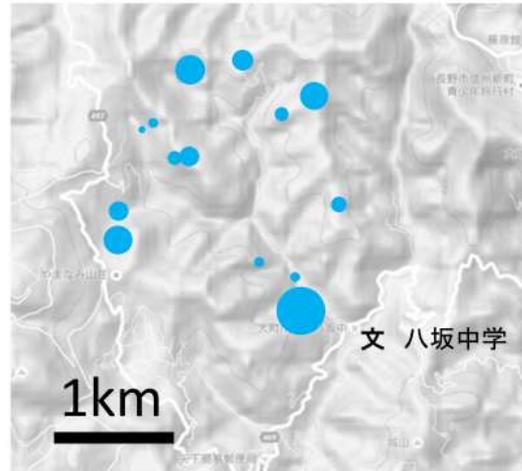
シカが写っている
写真だけを検出

センサーカメラによる密度調査

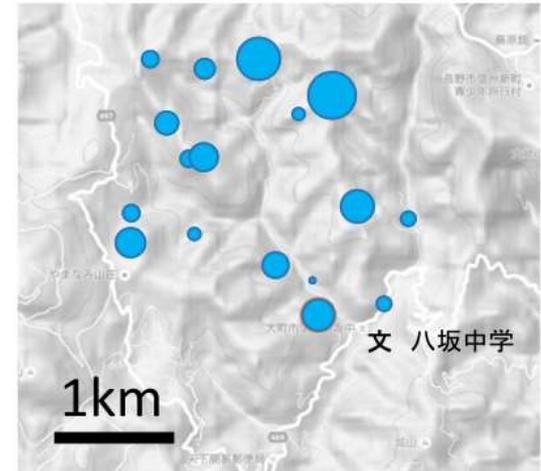
撮影地点ごとのニホンジカ撮影回数



7月



8月

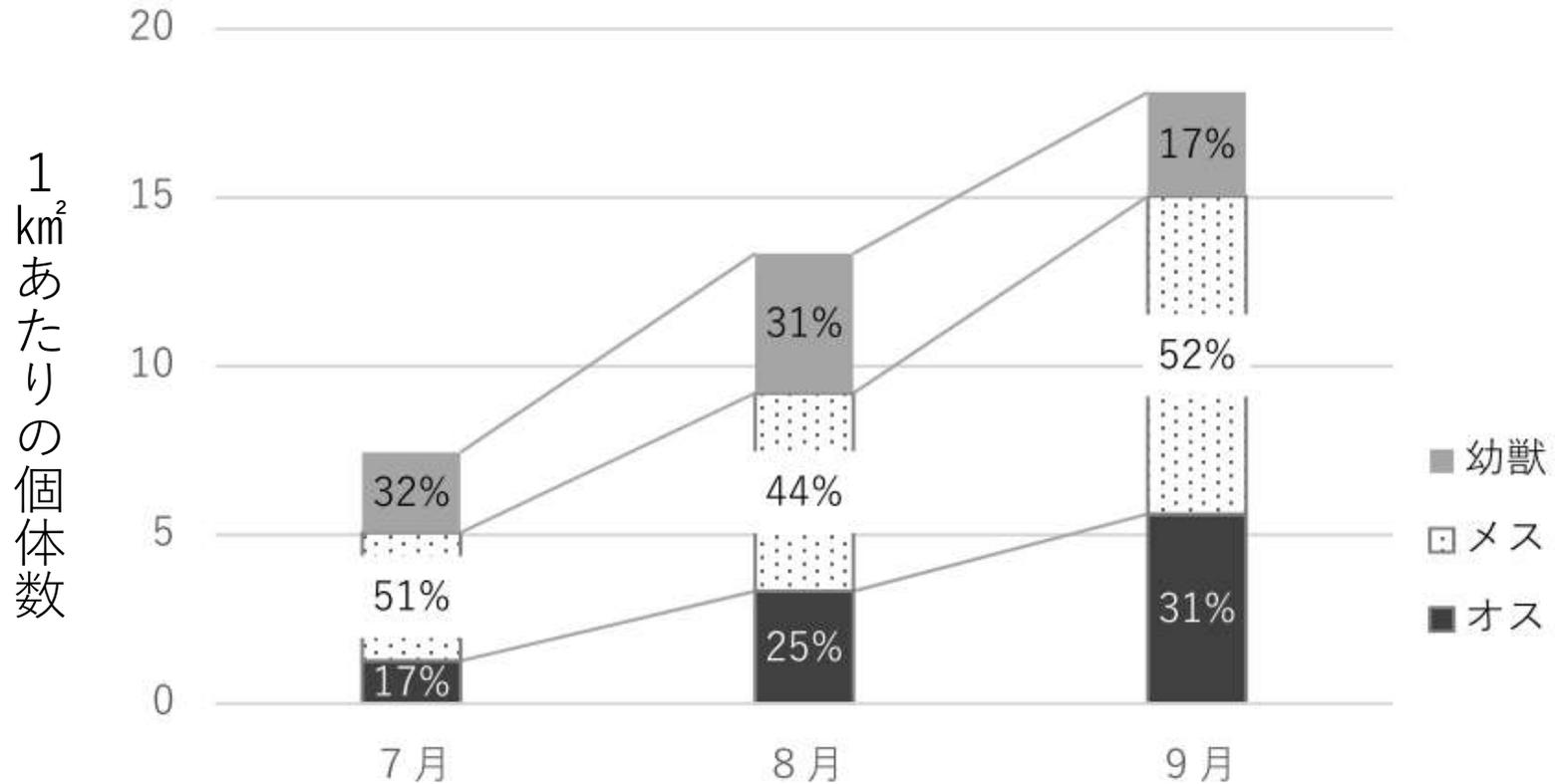


9月

1回の撮影で映る平均群れサイズ × 調査期間中の撮影頻度

カメラの撮影範囲 × シカの移動速度

センサーカメラによる密度調査



生息密度と個体構成の推移

シカの密度を測ると

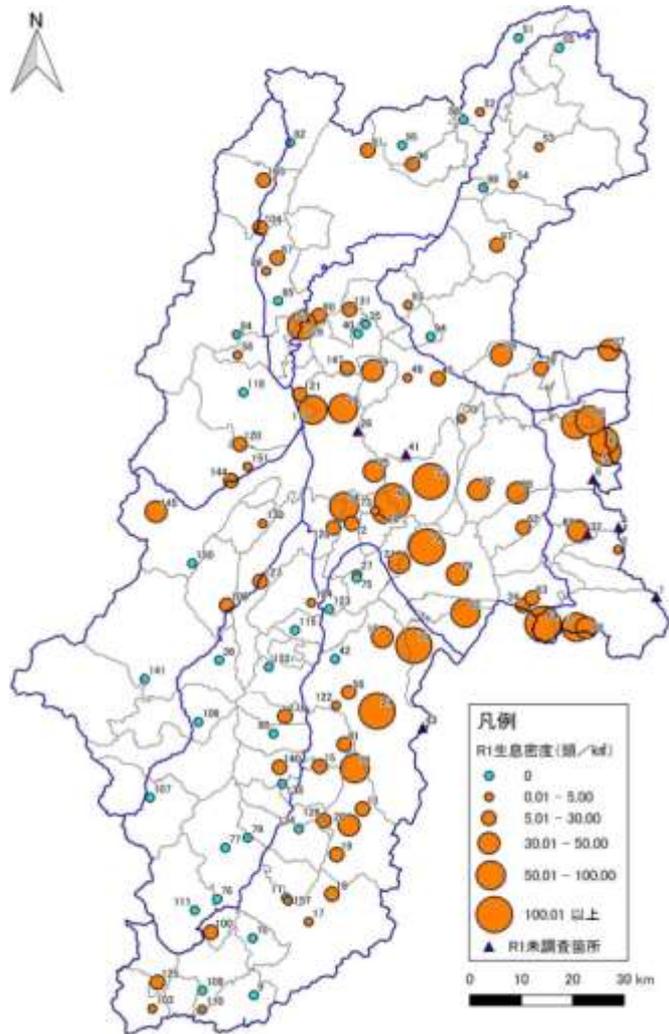
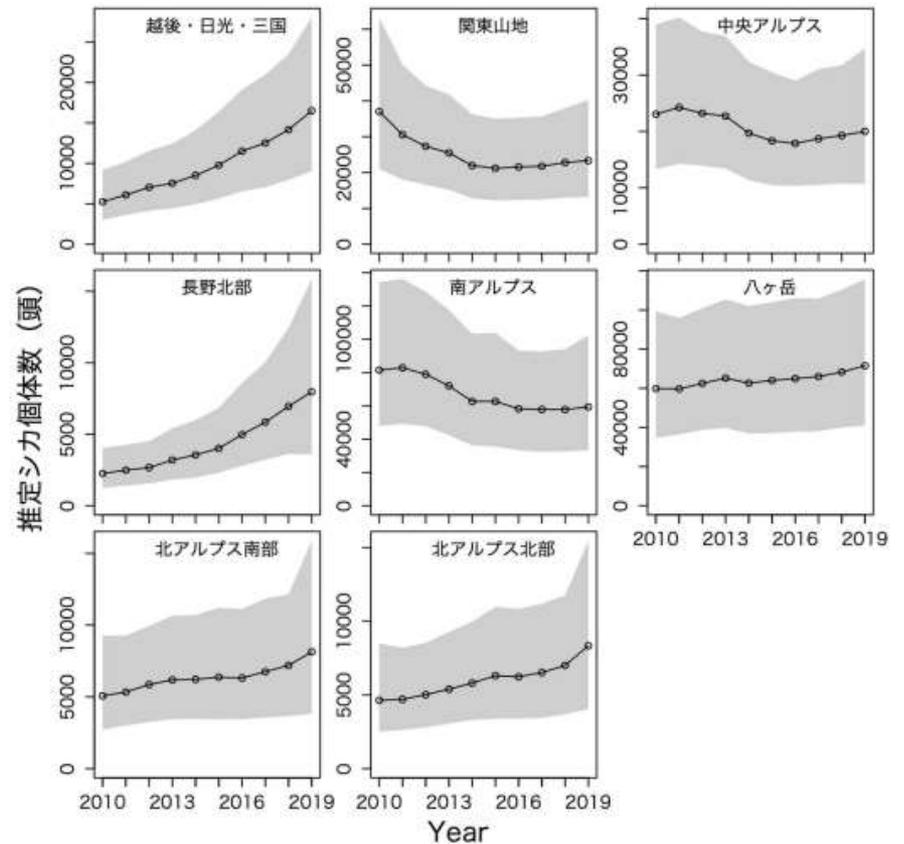


図2-3 糞粒法調査による推定生息密度（令和元年度）



県内での分布状況が分かる

生息数の変化が分かる

シカの影響を測る！



二ホンジカ



何かの幼虫



ヒト

しょくぶつ

植物なら何でも食べる



ヤグルマソウ



マユミ

114科 646種



クマイザサ



エゾユズリハ

好ききらいがあるが、
好きなものがなくなればきらいなものも食べるように



シカ採食の影響

R1年度ニホンジカ基礎調査
(県林務部・環境研)より



茂っている



草や低木が小さく



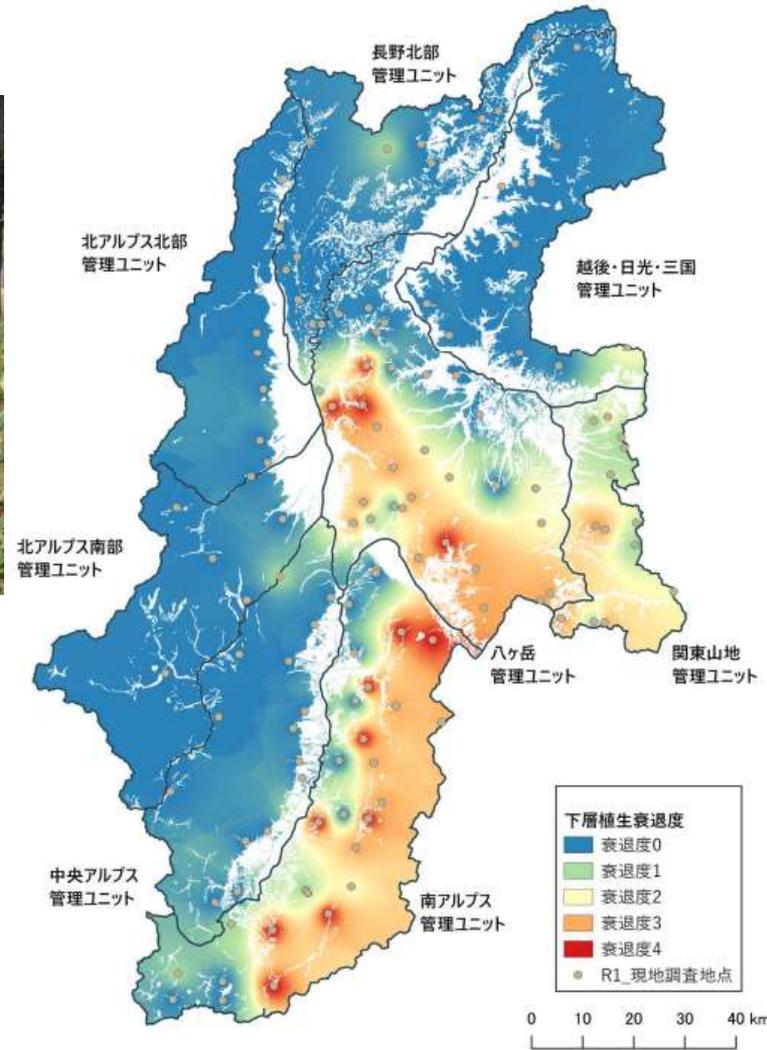
ササだけになる



ディアライン形成



スカスカ



南アルプス・中信高原は
森の中がスカスカに

シカをはかる

技術発展により様々な“測り方”が開発



これまで明らかにできなかったこと、
新しいことを知ることができる



シカとの付き合い方の選択肢を増やす
生態系保全にいち早く取り組める